

2021(令和3)年度12月委員会

- 配布資料
1. 2021(R4)1月、2月予定表
 - 2-1(会長) 12月役員会記録(2021.12.14)
 - 2-2(会長) 会長会(12/10)について
 - 2-3(会長) 防災フォーラム Zoom 会議報告(ソノリテより)
 - 3-1(総務) 委員候補(弘中さん)について
 - 3-2(総務) 地域交流会「こみゆに亭カフェ」(R4 3/5) 広報原稿
 - 4-1(地交) 地域交流部七館会議報告(12/3)について
 - 4-2(地交) アート展今後のスケジュール(R4 2/29.30)
 - 5-1(事企) 防災フォーラム(12/5) アンケートまとめ
 - 5-2(事企) アニメーションミュージアムとの協働について(R4年度)
 - 6-1(広報) わたしのおぎくぼ No. 355 について
 - 6-2(広報) 協議会ホームページ
 - 6-3(広報) 荻窪の記憶Ⅳ 清水・桃井・今川の歴史 郷土博物館分館展示状況

1. 報告

- 1-1. 会長: 会長会議報告、Zoom 関係不具合に関するソノリテ報告の説明、
天沼地区町会連合会(12/10)出席報告
- 1-2. 総務部: 館内研修(12/21)「荻窪の記憶Ⅳ 清水・桃井・今川の歴史」、
地域懇談会(R4 2/5)について
- 1-3. 地域交流部: 地域交流部七館会議報告、アート展今後のスケジュールについて、
センター祭(R4.6/12)とマルシェ(R4.10/30)の日程について
- 1-4. 事業企画部: 防災フォーラムについて
- 1-5. 広報部: わたしのおぎくぼ No. 355 について
- 1-6. 道の愛称 p:
- 1-7. 荻窪の記憶 p: 荻窪の記憶Ⅳ 清水・桃井・今川の歴史 郷土博物館分館展示状況
- 1-8. こみゆに亭 p: 地域交流会「こみゆに亭カフェ」について
- 1-9. 事務局: 来年度事業の日程検討
- 1-10. その他:

2. 協議

- 2-1. (会長)
- 2-2. (総務) 委員候補(弘中さん)承認の件
- 2-3. (地交)
- 2-4. (事企) アニメーションミュージアムとの協働について
- 2-5. (広報)
- 2-6. (事務局)

3. 事務局から

4. その他

2022年1月予定

	午前	昼休み	午後
1 土	(休館日)		
2 日	(休館日)		
3 月	(休館日)		
4 火	(休館日)		
5 水	部会休み		
6 木			
7 金			
8 土			
9 日			
10 月	(休館日) 成人の日		
11 火	部会10:00～ 第1・2集会室		
12 水			
13 木			
14 金			
15 土			
16 日			
17 月			
18 火	部会10:00～ 第1・2集会室 ◎「区広報紙」3/15号原稿事務局へ切 アート展実行委員会 11:00～ 第1・2集会室		<総務部>大矢 地域懇実委会 13:00～、打合せ室 役員会 14:00～、打合せ室
19 水			
20 木	(館内整理日)		
21 金	◎「区広報紙」2/15号校正日		
22 土			<事業企画部>恵羅 新春講演「天才・手塚治虫との対話 から」 講師：加藤丈夫 13:30～15:00 第1・2集会室
23 日			
24 月	(休館日)		
25 火	部会10:00～ 第1・2集会室 広報紙「わたしのおぎくぼ」No.355 2月3月号発行・配布		<総務部>大矢 委員会 13:00～、第1・2集会室
26 水			
27 木			アート展個人預り 15:00～19:00
28 金			<地域交流部>萬 アート展 前日準備 全館
29 土			<地域交流部>萬 アート展 全館
30 日			<地域交流部>萬 アート展 全館
31 月	アート展学校関係返却		
	午前	昼休み	午後

2022年2月予定

	午前	昼休み	午後
1 火	部会10:00～ 第1・2集会室		
2 水	パネル展示「荻窪の記憶IV清水・桃井・今川の歴史」【2/2～3/21】		センターロビー
3 木			
4 金			<事業企画部>恵羅 ラジオ体操 講師：銚立和子 10:00～11:30
5 土			<総務部>大矢 地域懇談会 14:00～16:00 第1・2、4・5集会室
6 日			
7 月			
8 火	部会10:00～ 第1・2集会室		
9 水			
10 木			
	(建国記念日)		
11 金	<事業企画部>堀川 ビバ・発酵食! 講師：梅山朋子 10:30～12:00 料理室		<事業企画部>恵羅 ラジオ体操 講師：銚立和子 10:00～11:30
12 土			
13 日			
14 月	(休館日)		<総務部>大矢 総務七館連絡会 14:00～16:00 阿佐谷
15 火	部会10:00～ 第1・2集会室 ◎「区広報紙」4/15号原稿事務局へ切		<総務部>大矢 役員会 13:00～、打合せ室
16 水			
17 木			
18 金	◎「区広報紙」3/15号校正日		
19 土			<事業企画部>熊谷 荻窪の初・ル人学校(EISJ)を知ろう 講師：バットビスヌ パラサド 13:30～15:15 第1・2集会室
20 日			
21 月			
22 火	部会10:00～ 第1・2集会室		<総務部>大矢 委員会 13:00～、第1・2集会室
23 水	(天皇誕生日)		
24 木			
25 金			
26 土	<地域交流部>萬 本天沼集会所まつり 前日準備 本集全館		
27 日	<地域交流部>萬 本天沼集会所まつり 本集全館		
28 月	(館内整理日)		
	午前	昼休み	午後

2021（令和3）年度12月役員会記録

文責（茂木）

日時：2021年12月14日（水）13時～14時30分

場所：打合せ室

出席者：茂木会長（記録）、萬副会長・地域交流部長、惠羅副会長・事業企画部長、大矢総務部長、横尾広報部長、桑山会計監事；吉川事務局長、岩井事務局員、鈴木事務局員

- 配布資料
- 2021（R4）1月、2月予定表
 - 2-1（会長） 会長会（12/10）について
 - 2-2（会長） 防災フォーラム Zoom 会議報告（ソノリテより）
 - 3.（総務） 地域交流会「こみゆに亭カフェ」（R4 3/5）広報原稿
 - 4-1（地交） 地域交流部七館会議報告（12/3）について
 - 4-2（地交） アート展今後のスケジュール（R4 2/29.30）
 - 5-1（事企） 防災フォーラム（12/5）アンケートまとめ
 - 5-2（事企） アニメーションミュージアムとの協働について（R4 年度）
 - 6-1（広報） わたしのおぎくぼ No.355 について
 - 6-2（広報） 協議会ホームページ
 - 6-3（広報） 荻窪の記憶IV 清水・桃井・今川の歴史 郷土博物館分館展示状況
 - 7.（事務局） R4 年度スケジュール

1. 報告

- 1-1. 会長：会長会（12/10）：受講時要配慮者向け対策（7館中、3館予算化）などテーマ防災フォーラムにての Zoom 関係不具合に関するソノリテ報告を説明
- 1-2. 総務部：館内研修（12/21）予定「荻窪の記憶IV 清水・桃井・今川の歴史」地域交流会「こみゆに亭カフェ」（3/5）予定
- 1-3. 地域交流部：地域交流部七館会議報告、アート展：今後のスケジュールについて、おぎくぼセンター祭（R4.6/12）（短縮化と本年マルシェの経験を活かす）、一方 ハロウィーン企画は外せない→マルシェ（R4.10/30）を日程化。
- 1-4. 事業企画部：防災フォーラムの報告
- 1-5. 広報部：わたしのおぎくぼ No.355 について
- 1-6. 道の愛称 p：
- 1-7. 荻窪の記憶 p：「荻窪の記憶IV 清水・桃井・今川の歴史」郷土博物館分館展示状況
- 1-8. こみゆに亭 p：総務部報告に同じ
- 1-9. 事務局：
- 1-10. その他：

2. 協議・提案

- 2-1. （会長）・Zoom 使用時の対策（センター内部分 WiFi 設置如何：見積を受け検討）
・要配慮者対策：検討継続
- 2-2. （会長・総務）委員候補（弘中さん）委員会への上程の件→了承

- 2-3. (総務) 地域懇談会 (2/5) : 内容の詰め、告知先、運営方法
- 2-4. (地交) 協議会メンバー増強が急務 : 小中学校 PTA、学校支援本部など
- 2-5. (事企) アニメーションミュージアムとの協働について : 方式と時期が課題
- 2-6. (広報)
- 2-7. (事務局) ・来年度日程検討
さいえんす縁日、おぎくぼセンター祭、マルシェなど

3. 事務局から

令和4年10月で区制施行90周年を迎える : 記念事業の受け皿として、「おぎくぼセンター祭」にて展示等受入を区に言ってきたが、それと規模を縮小予定の初夏の「センター祭」コンテンツとの整合性をどうとるか→2階の一部での展示等に対応など今後検討。

4. その他

地域区民センター協議会会長・局長会記録

1 開会の挨拶

永福和泉地域区民センター協議会 会長 山本 松江
区民生活部地域課長 原田 洋一

2 出席者自己紹介

3 議 題

(1) コロナ禍における大規模イベント等開催時の留意事項について

・事前の備えが重要であり、イベントのありかや安全面での配慮について、これまでの形に捉われることなく、適切な検討と実践を行うガイドラインが提示された。

※ガイドラインは、各協議会を拘束するものではない。

荻窪のマルシェ開催時の対応につき質問を受けた。(連絡先・検温などを説明)

(2) 各協議会における要配慮者に対する配慮状況の情報共有について

(講座開催時の手話通訳者の手配実施、子どもの一時的預かり実施、検討中など)

・協議会により手話・託児の予算はとっているが実績は「託児」・「字幕付き落語会」・「狂言鑑賞時における席の確保、介添え」が挙げられた。

(3) 各協議会におけるメールによる講座等申込の実績等について

各団体の現状についての説明が行われた。留意する点として挙げられたのは、いずれもメールでの申込者にキャンセル、特に連絡のないキャンセルが多いことである。このため、出席を如何にして確実とするか、キャンセルを見込んで、どの程度当選枠を広げて決定するかなどの課題が示された。

4 その他

5年度以降の予算計上にあたり、要配慮者に対応するための予算計上に留意する旨が、地域課長から示された。

5 閉会の挨拶

永福和泉地域区民センター協議会 会長 山本 松江

【次回の予定】

日 時：令和4年2月7日（月）10時～12時

場 所：杉並区役所本庁舎 西棟6階 第5・6会議室

令和3年12月10日

各協議会における要配慮者に対する配慮状況について
(講座開催時の手話通訳者の手配実施、子どもの一時預かり実施、検討中など)

	現在の状況 (配慮している事項)		配慮している事項、これから検討する予定等、協議会としての考え方があれば記載してください。
	有	無 検討中	
井 草	○		○今年度新たに手話通訳の予算を確保した。広報すぎなみ等で講座情報を掲載する際に、「手話通訳あり(事前申込制)」と記載している。現在のところ実績はない。 ○これまでも託児の申込に対応しており、今年度の実績は2名。
西 萩	○		○手話通訳は講座予算では確保していない。協働事業には毎年予算を付けており、過去に実績あり。 ○託児は前年度まで講座予算に付けて実績もあり。しかし、委託業者がコロナの影響で今年3月廃業され、今年度は予算なし。また託児室が狭く使い勝手が悪いため、多くの子どもを預かるのは難しい状況。
萩 窪	△		○聴覚障害のある方にも楽しんでいただけるように字幕付きの落語会(萩窪寄席)を実施します。
阿佐谷	△		○以前は、手話通訳者や一時預かりの予算を確保していたが、実績が無いこともあり、現状では個別の予算確保等は行っていない。(必要がある場が生じたときは事務費等で個別対応となると考える。)
高円寺	○		○手話・託児の予算は確保しているが、実績はない。狂言の観劇について弱視の人から申込があった。先頭の席を確保や介添いなど、個別に要望をきいて対応した。今後検討が必要
高井戸		○	○講演会の手話通訳は過去に行ったことがある。講座では実績なし。 ○託児については、希望者がなく、実績なし。
永福和泉		○	○協議会活動(講座等)において、今後は障害等、配慮が必要な方も参加しやすい取り組みを進めていく必要があるのではないかと意見があった。各協議会の取り組み状況(考え方等)を確認して今後、検討を行うべく予定。(予算は事務費に4,000円程度を見込み一括計上としているが実績無)

各協議会におけるメールによる講座等申込の実績等について

	運用実績		備考
	運用状況開始 (又は予定)	講座数	
井 草	令和3年4月	講座12 協働事業2	9.6人 ○メールによる申込みは申込者の約半数。便利になったという声が増えてきている。 ○集会所の利用定員の制約が解除された。今後募集人数を増やす場合、当選・落選のメール送付の事務量が増える。 ○メール申込者の中に、連絡なく欠席する方、1通のメールで複数人分を申し込み方がいる。 ○メール申込者は若年層を想定していたが、高齢者の申し込みも少なくない。メールとハガキの応募数は半々くらい。 ○応募者への返信が先方の迷惑メールフォルダに入ってしまうケースがあり、協議会ホームページ申込ボタンの脇に注意喚起を促す一文を付け加えた。
西 荻	令和3年4月	(11/16 現在) 講座2 協働事業2	80人 ○令和3年7月に簡易方法により試行。HPにメールアドレスを記して、講座申込みを受け付けられた。講座自体が、新型コロナウイルスの影響により中止となったため、その旨の通知を個別に返信した。
荻 窪	(予定) 令和4年4月	1	119人 ○メールでの申込みが入らない ○当選者一覧揭示方針から当選者へ個別返信への転換 ○複数申込みや、はがきとの重複申込み等の確認 ○事務量の増
阿佐谷	令和3年8月	講座1 協働事業3 集団事業1	378人 ○応募者の約半数がネットによっている。65歳以上の高齢者の申込みも多く、年齢による障壁はないと思われる。ただし、手軽の申し込みめる分、往復ハガキよりキャンセルも多い。キャンセルを見込んだ当選者数の割り増しをすべきか状況を見ている。また、ハガキだけの時より事務量が増えるので応募ジムの省力化にはならない。
高円寺	令和3年5月	5	145人 ○他協議会の運用状況を見て検討する。 ○親子・幼児向け事業の際にで申し込み方法に関するアンケートを行ったが、半数以上が往復葉書を希望していた。
高井戸	—	—	—
永福和泉	—	—	— ○メール講座申込のプラットフォームは構築済みだが、セキュリティ強化のため再構築を検討中(現在、講座申込のプラットフォームは停止中)

荻窪地域区民センター協議会様

12月5日 防災フォーラム開催サポート報告書



2021年12月13日

株式会社ソノリテ 伊沢、小林

1. Wifi接続環境のトラブルと対応

① 第1部 防災講演

ポケットwifiが、いずれの会場でも通信が切断される状態になった。結果、以下の対応で回復を図った。

第1会場：伊沢携帯テザリングで対応

第2会場：ポケットwifi、再起動で対応

② 第2部 町会・震災救助所情報交換会

いずれの会場でもポケットwifiの使用は避け、携帯テザリングで対応した。

第1会場：小林携帯テザリングで対応

第2会場：伊沢携帯テザリングで対応



2. その他のトラブルと対応（2）

- ・ 第1会場で、講師および会場を映す広角カメラが起動しなかった。
→ 第1会場のサブPC用に、念のため小林が持参した外付けのWEBカメラで、講師と会場の様子の両方を適宜向きを変えて映すことで対応した。アップにすることはできなかったものの、第2会場に、講師が話している様子や質問者が発言している場面を見せることはできた。

- ・ 会場用スピーカーの音量ボリュームを、発言者の音量に合わせて都度調整する必要があった。

→ サブPCのカメラ操作とスピーカーのボリューム調整をひとりで行うため、2つを手の届く近さに置いて対応した。ただし、ハウリングを避けるためにサブPCの音声はオーディオから退出させたところ、レコーディングで音声が入らないことになった。



2. その他のトラブルと対応（1）

- ・第1会場では、サブPCをホストとして画面共有を行う予定だったが、講師の希望でメインPCで自身で操作することになり、PDF資料の投影を事前確認した。しかし、その後ご本人がPPTの投影に変更して画面共有したところ、上下が切れた見え方になってしまった。
 - 理由は不明だが、プロジェクターとの接続をサブPCからメインPCに切り替えることで見えるようになった。（ただ、画面共有しているPC画面を直接プロジェクターで映すと、発表者の画面と投影資料が重なってしまうのは避けられなかった。きちんと画面共有がされれば、本来はサブPCを映し出した方が資料と発表者画面が重ならずに見えてよいと思われる。）
- ・すべてのPCに共同ホスト権限を付与するには、Zoomの初期設定を変更する必要があるが、そのためZoomアカウントのログイン情報を開始前に入手しておらず変更ができなかったため、講師が画面共有するメインPCのみホストの状態で第1部は実施された。その状態で、第1会場のポケットWifiの接続が切断されたところ、ホスト権限が第2会場のPCに移って、再接続時に第1会場のメインPCからの画面共有ができなくなってしまう。
 - 急遽テザリングでの接続に変えることで対応。

3. 今後のための考察

- ・リハーサルでは安定していたものの、ポケットWifiは人が大勢入った会場では電波の干渉を受け不安定になる可能性があるかもしれない。今回、テザリングの方が安定していることがわかったため、スマートフォンをレンタルしてテザリングを使用する選択肢もありうる。
- ・司会者・講演者・質問者など、複数の方が話す際には、スピーカーのボリューム調整が必要。担当をひとり置くのがよいと思われる。
- ・講師が画面操作に慣れていない可能性もある。事前に時間をとって自身の見え方や資料の見え方をよく確認するのが望ましい。一人目の講師と二人目の講師の間で短くてよいので休憩を挟み、画面確認のうえ始められるとより安心。
- ・会場を映すカメラは別途用意があるとよい。録画（録音）についても記録として残すのであれば、Zoomを介してではなくビデオカメラで独立して撮影するのが望ましいと考える。

以上

委員会付議案件

協議会新委員 1 名、承認の件

2021 年 12 月 21 日

氏名：弘中義夫（ひろなか よしお）

年齢：満 83 歳

住所：杉並区荻窪

志望動機：善福寺川緑地の樹木剪定、花壇管理などボランティアとしてやっており、住まいの近隣にあるセンター協議会でも何かができるのではないかと考えたもの。

職歴：林野庁、農業漁業信用基金、森林自然環境技術教育研究センターなどで勤務。現在グリーン航業（株）所属

OA 機器対応：パソコン主要ソフト、E メールでの応答など、運用可能

(経緯)

大矢さんのご紹介、11 月 16 日面談（茂木、大矢）、11 月 24 日面接（各部長、事務局長）、12 月 21 日（役員会で承認）

（当方から念を押した点）

定例活動日：毎火曜日午前、平日、土日、祭日についても所属部・協議会の必要に応じ活動参加がある。ただし、個人の都合を勘案しボランティアベースを尊重。

なお、半日単位で交通費程度の支給がある。

また健康状態・加齢に即して業務遂行能力を自己管理していただく。

（期待できること）

バックグラウンドを活かし、自然・環境系のプログラム企画・遂行など。

（所属予定部）

事業企画部

以上

講座・催し名： 地域交流会「こみゆに亭カフェ」(第3弾)

作成日： 令和3年12月5日
作成者： 総務部 大矢 (梶山)

荻窪協議会広報紙 2022年 2月・3月号 掲載原稿(わたしのおぎくほ)

講座名	内容・講師	開催日・時間	定員	参加費	申込締切
地域交流会 こみゆに亭カフェ (第3弾)	地域住民同士の楽しい交流づくり。 毎回、つながるきつかけづくりを目的として、さまざまな講和やワーク ショップを行う。(第3弾) 3月講師 和泉 妃夏 女優・演劇セラピスト Toshi 小島 オーガニックサウンドセラピスト	3月5日(土) 午後1時～3時	40名	200円	2月28日(月) 長寿応援 対象事業

* 1 講座・催し名の欄は、最大40字以内の掲載をお願いします。

* 2 内容／講師・出演者等の欄は、最大150字以内（講師・出演者等は除く）の掲載をお願いします。

広報「すぎなみ」2022年 2月15日号 掲載原稿

講座名	開催日時／場所	内容／講師・出演者、等	定員	費用	はがき申込締切日/ その他（長寿・協働等）
地域交流会 こみゆに亭カフェ	3月5日(土) 午後1時～3時 受付12時30分より 荻窪地域区民 センター 2階 第1・2集会室	内 地域住民同士の楽しい交流づくり、 ワークショップ、他 師 和泉 妃夏 女優・演劇セラピスト Toshi 小島 オーガニックサウンドセラピスト 申 往復はがき(12面記入例)で、2月28日 (必着)までに同協議会 他	40名 (抽選)	200円	※2月28日(月)締切 応募は、往復はがきで 同協議会まで。 長寿応援対象事業

地域交流担当部門七館連絡会議

日時：12月3日 14:00～16:00時

場所：高井戸区民センター

会議概況(総括)

1. 活動報告特にコロナ禍での活動

各センターとも上半期は活動中止または延期、下半期以降荻窪センター同と同様、規模を縮小、抽選制による人数制限、感染防止対策を徹底しての実施または計画中である

2. 取り上げた問題点、課題など

総じて協議会委員の高齢化、委員数の不足などから、イベント開催日数の縮小や減少などを検討したい旨の発言が多く出た。

3. 今後の対応と指定管理者制度について

高齢化等からイベント作業時のけがなどを心配し、当センターと同様今後はテントなどのレンタルへの変更を考えている等、

また、当方から問題提起した「指定管理者制度」の功罪について協議
会館の建て替え期の導入事例が増加してきている。近年導入したところは機能分担手探り中。

経験の長い大型センター（高井戸など）では機能分担的に、功の要素（イベント開催時の重量物運搬、趣味と教養講座の分担等）も多である旨報告があった。

4. その他

5. 会議録：別紙

後日、高井戸センターより、議事詳細の報告がある

以上

令和3年12月3日地域交流部7館会議録

2021/12/12

1. 時間：14:00～16:00
2. 場所：高井戸地域区民センター 3階
3. 議事概要：
 - 1) 高井戸側の司会で会議開始し、先ず各協議会出席者の自己紹介を行った。
 - 2) 議事は事前提出した各協議会毎の今年度の事業実態の説明から始まり、課題発表、議論、と進行した。各協議会の事業特記は下記の通り。
 - (1) 井草：八成祭を開催。野菜販売は即売り切れ、子供用景品は即無くなった。
 - (2) 西荻：祭が期日前投票と重なる。受付人数制限・30分毎で入場の総入れ替え。地交部は1年生のみ。イベントのノウハウ欠如の為、教育ビデオ作成。
(協議委員：19名、地域交流部：4名)
 - (3) 阿佐ヶ谷：全部中止したが、来年は指定管理制度導入で3月引越しのため、12/5を祭ではなく発表会とし、センターの意義は①文化活動②顔合わせであり、最後になるため実行。入れ替え制でチケット制。
(協議委員：29名、50%女性、地域交流部：4名)
 - (4) 高円寺：殆ど計画イベントは出来なかったため、来年2月にワイワイ祭予定。
(協議委員：25名、)
 - (5) 永福和泉：方南祭を1日で実施。予約入れ替え制でレンタル・外注を増加。
(協議委員：34名、地域交流部：7名)
 - (6) 高井戸：ミニ祭を実施。事前抽選制・入れ替え制。
(協議委員：30名、地域交流部：7名)
 - 3) 課題は下記の通り。
 - (1) 飲食：祭で提供する飲食物に含まれるアレルギー対応は（井草）
 - (2) 人の密度問題：祭・イベントでの人流をどのように管理するか（井草）
 - (3) 協議委員の人数：不足対応は（西荻・高円寺）
 - (4) 指定管理者制度：問題点等は（荻窪）
4. 次回の7館会議は井草の担当。

以上。

4 3回アート展今後のスケジュール（第1回実行委員会12/14）

月	日	曜日	実施事項		参考（本天沼祭り）	
12	14	火	第1回実行委員会（看板掲示）	委員協力者回覧	チラシ検討	本天沼原稿締め（広報すぎ）
	15	水	学校締め切り			
	16	木				
	17	金	石山太柏打ち合わせ（萬 影山）			
	18	土				
	19	日				
	20	月				
	21	火	年内まとめ（プログラム検討）	協力委員数確定		
	22	水		西田PTA,OB検討要請		
	23	木				
	24	金				
	25	土				
	26	日				
	27	月				
	28	火				
	29	水				
	30	木				
	31	金				
1月	1	土				
	2	日				
	3	月				
	4	火				
	5	水				
	6	木				
	7	金				
	8	土				
	9	日				
	10	月				
	11	火	部会（レイアウト、応援体制検討）	西田PTA,OB確定	チラシ確定	
	12	水	ドンマイ作業打ち合わせ			
	13	木				
	14	金				
	15	土				本天沼ブリーフ広報 （本番は2/15）
	16	日				
	17	月				
	18	火	第2回実行委員会（各部屋サイン印刷） 委員オリエンテーション	弁当仮	チラシ印刷	
	19	水				
	20	木				
	21	金				
	22	土				
	23	日				
	24	月	学校関係作品引き取り			
	25	火	プログラム等印刷		わたおぎ、 チラシ発送	（中央線北側学校）
	26	水				
	27	木	個人預かり（3時～7時）			
	28	金	前日準備（9時～4時）	弁当1（700円検討）		
	29	土	本番（9：45～4時）	弁当1		
	30	日	本番（9：45～5時）	弁当2（1は軽食）		
	31	月	学校関係返却			

防災フォーラム2021「知ろう！高めよう！町の防災力・私の防災力」アンケート報告

【年齢】

10代以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	合計
0	0	1	4	10	18	42	10	85

【お住まい】

荻窪	南荻窪	宮前	高井戸	上荻	井草	天沼	本天沼	清水	桃井	今川
18	7	10	1	5	0	8	6	0	0	1
阿佐谷	成田	浜田山	西荻南	西荻北	西荻窪	上井草	下井草	松庵	善福寺	高円寺
2	0	3	2	1	0	2	2	3	5	2
和田	梅里	和泉	杉並以外	未記入	合計					
2	1	1	3	0	85					

【1】防災フォーラムの開催を何で知りましたか。

- ①チラシ・ポスター ②広報すぎなみ ③協議会広報誌「わたしのおぎくぼ」「なかま」
 ④協議会ホームページ ⑤知人から聞いた ⑥地域区民センターや集会所等で知った
 ⑦その他（町会など）

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	未記入	合計
9	18	11	1	9	15	30	0	93

【2】2. 講演会・情報交換会・災害時の簡単レシピについてお聞きします。

（回答項目）①役に立った ②あまり役に立たなかった ③参考にならなかった ④見なかった ⑤その他

- (1) 防災講演会「災害ボランティアセンター立ち上げの意味と地域との連携」（坂西千笑氏）
 (2) 防災講演会「災害時、荻窪地域区民センター3つの役割」（及川美咲氏）
 (3) 防災体験「災害時の簡単レシピ」料理室（青山貴洋氏）
 (4) 町会・防災会・震災救援所間の情報交換会（地域町会・防災会の皆さん）

	①	②	③	④	合計 ①～③
(1)	46	6	1	15	53
(2)	43	7	0	6	50
(3)	26	1	1	23	28
(4)	38	3	1	13	42

※「その他」としていただいた意見

- (1) ・zoom室は質問時映らず、聞き取りできず残念
 ・空論の繰り返し、実態がついていない
 ・VCについて聞いたことはあったが今回具体的に内容がよくわかった。災害時に実際どうなのかは別として参考になった
- (2) ・ハザードマップが無かった
 ・話が早くて呑み込めない、一方的に話している、相手を見ていない(1人の意見)
 ・震災と水災で避難所が異なることが分かった
 ・参考になった

- (3) ・日常生活でも実施して災害時にできるようにしたい
 ・普段気付かないことを教えてもらった。早速一度自宅で試そうと思う
 ・備蓄はあるものの、そのままではなく調理して使う方法を教えていただき応用もできると思った
 ・実際にデモンストレーションがあつてよかった
- (4) ・各町会の意識が強い
 ・自助を助ける区の役割は何か、自助を推進させるための(区)役割は何か
 ・大変役に立った

3. いろいろな催しを行っていますが、感想をお聞かせください。

(回答項目) ①役に立った ②あまり役に立たなかった ③見なかった ④その他

- (1) 災害用伝言ダイヤル171・公衆電話のかけ方体験 (日本公衆電話会)
- (2) ブレーカー展示・操作体験 (東京電力パワーグリッド)
- (3) 防災に関するパンフレットの配布 (東京ガス・東京都水道局)
- (4) パネル展、スタンドパイプなどの使い方 (荻窪消防署)
- (5) 災害救助活動写真展示 (荻窪警察署)
- (6) 防災ビデオの上映
- (7) アンブルボード、防災備蓄品、感震ブレーカー等展示 (杉並区防災課)
- (8) 防災倉庫の見学
- (9) 災害時のペットについての展示等 (杉並どうぶつ相談員)
- (10) 災害に備えた備蓄法、トイレの問題など (杉並災害ボランティアの会)
- (11) 災害に備えた食糧備蓄と簡単レシピの展示 (すぎなみ栄養と食の会)
- (12) 防災クイズ (区民センター協議会)

	①	②	③	④	合計 ①②	
(1)	42	0	11	0	53	2位
(2)	27	3	16	※	30	7位
(3)	29	0	16	0	29	9位
(4)	28	3	18	※2	31	6位
(5)	31	1	21	0	32	5位
(6)	19	1	15	※3	20	12位
(7)	35	0	20	※4	35	4位
(8)	19	6	11	※5	25	11位
(9)	29	1	19	※6	30	7位
(10)	51	0	8	※7	60	1位
(11)	39	3	12	0	54	2位
(12)	25	2	11	0	27	10位

④「その他」としていただいた意見

※・これから資料を見ます ・以前に設置の話を知っている ・問題提起 ・知っていた

※2・水源地図が欲しい

※3・何回見ても怖い

※4・スタッフの説明が役立った・ブレーカーつけてます・他所で見て先日つけた、良かった

※5・勉強になった・参考になった・実際に使えるのか?・中身のわからない段ボール箱が多かった

※6・説明が役立った ・お話を聞いてよかった ・ペットなし2

ご感想、ご要望、ご意見等自由にお書きください。

- ・根性が試されます、長くやっていく責任を感じています
- ・残念ながら一部しか拝見できませんでした。他団体のご意見、参考になりました
- ・毎年多様な企画ご苦労様です
- ・制度の説明はよくわかった。担う人の問題、集まるか集められるか、マンパワーの問題を詰めないといけない
- ・改めて災害に備えようと思いました
- ・食べ物(防災用クラッカー)、鉛筆(防災グッズ)、傘カバー(東電)等の景品を頂いてとても嬉しかった
- ・もっと参加者が多ければ・・・宣伝不足、せっかくの催しをもったいない
- ・皆様ご苦労様、多様な意見が聞けることが協議会の良いところと思います。今後も頑張って下さい
- ・在宅避難が推奨されているやに聞きますが、在宅避難に注力したフォーラムを計画されてはコロナも災害と思いますが、コロナ対策もフォーラムでとりあげては
- ・人と繋がる好機と思って参加した。防災についての知識もたくさん得ることができてよかった。特に二つの講演が良かった。情報交換会は円卓にした方がよかったのではないか
- ・自分の住んでいる立川市の防災フォーラム的な取り組みの有無が気になった。杉並区の取り組みに感動した。食料、防災備蓄は大変勉強になった
- ・今年は昨年より規模を広げることができてよかった
- ・発災後テレビで情報収集したいのですが、電力供給以外にどのようなネックがありますか？
テレビ放送が復旧するまでの予想時間は？
- ・身近に参考になるものがありました
- ・トイレがとてもよかった。簡単レシピよかった。
- ・講演会への希望・・・東日本大震災で十分な情報のなかった時に、寝食、家族を気になりながらも。忘れて頑張られた二葉消防署のOBの方の話を聞いてみたい
- ・たくさんの人に見てもらいたい
- ・参加してよかった。このところ地震がちよくちよく起きているので、身近にこの心構えが大切と思う
- ・2回～/年あるといいですね
- ・普段の各自の心掛けが大切だと思った。杉並区のジオラマ(立体高低モデル)を段ボール等で作るとよい
- ・講演会で質問が多数出たので災害を心配している人が多いと感じた
- ・所用で午後の部は参加できなかったのは残念
- ・大変勉強になった。今後に活かしていきたい。オンラインで別会場とつないでの高度な実施方法をされていたが、講師は「資料がお手元にありますか？見えますか？」という配慮があったほうが良いと思った
- ・町会から参加なのに個人としてどうするのか、何があればいいのかのような視点で見たり体験したりした。近いところに近いところに区民センターがあり災害時に受けられる支援、自分でしておくことなど、ある程度判別できたので大変いい時間だった
- ・2Fの展示トイレに関する説明が具体的でとても分かりやすく参考になった。とても良かった
- ・身近な問題として反省材料になり、大いに参考にしたい

「防災フォーラム2021」委員アンケート（荻窪）

1. 担当いただいた部門の評価（良かった点、課題、問題点など）

【前日準備】

- ・西荻窪の委員の皆さんが大変積極的でチームワークも良く、スムーズに作業完了
1階談話コーナー、玄関ホールのお会場準備：レイアウト図の準備が必要。
- ・体育館の準備（前日）と後片付け（当日）

前日のシート敷きはなかなかの重労働であったが、西荻の方々のご助力もあり、順調に終わることが出来た。但し、シートの長さが一部で短く、何回か継足すことがあった。来年度は長さの統一を図って欲しい。また、新しいシートに比べ、何回か使用したシートには穴がかなり開いていたので、養生に手間取ったので、出来れば来年は穴の開いたシートを新しいものと交換していただけると良いと思う。

当日の後片づけは前日よりさらに重労働で、最初一人で抱えて丸めていたところ、非常に能率が悪いことが分かり、たまたまシートに乗った人がいた時に、抱えていたシートが落ち、そのまま転がして巻き取ると速いことが分かり、反対側にいる人がシートを押さえて、転がしながら巻き取ると時間がかなり節約できることが出来、早く終わることが出来た。

【受付】

- ・参加者のネームプレートの色を変えたのは良かった。ほかの会でも使わせていただきます
- ・良かった点：来場者の名札と名簿の事前準備が良くできていてスムーズな受付ができた。（小野さんと事務局に感謝）当日事務局職員の協力が得られた。西荻の女性委員がテキパキ適切に動いてくれた一午前午後同じ委員。
- 課題・問題点・要改善点 お土産の味噌汁が配布せず全量余った。事前打合せ（指示）がなく、現場は不足時のバッファとしていたため結局配布せず残ってしまう結果となった。
- ・名札は製作時間・人件費について複数意見をいただきましたがコロナの現状、回収も難しい」とお答えしておきました
- 参加できる企画が明示されて混乱も防ぐことができたが、当日一般参加の方には参加できる企画を明示したほうがよかったのでは

【2FSSVなど】

- ・2Fの責任者として①SSV ②杉並動物相談 ③栄養と食、防災クイズの準備を担当しました。当日は主に工芸室のSSVの「食う、寝る、出す」の参加者誘導を行いました。
SSVの皆さんはよく勉強、訓練されている的確な対応をしていました。
- ・萬さんが講演会の聴衆の人たちをイベントに呼び込んでくれて、盛況を呈したのが良かったと思います

【弁当担当】

- ・良かった点
 - ・事前に配布先リストを作成していたので、混乱はなかった。
 - ・1階と、2階の担当各2名を配置ゴミ分別のチェックしたので、ゴミ処理での問題は、ありませんでした。
 - ・皆さんから弁当が美味しいと非常に感謝されました。
- ・問題点
 - ・弁当の到着時間が11時30分でしたので、11時迄に届けて欲しかった。
- ・わじや「曙」680円×115 おおむね好評であったが弁当搬入が表玄関になってしまった。事前に裏口を示せばよかった（段ボール入りだったので弁当だとはわからないが）
余裕を「5」で見込んだが、「10」あれば安心。（事務局は足りない場合を想定して14時に食事）

食券（裏面に所属・名前）を名札に付けて弁当と引き換え方式にする（名簿と後でチェック）
ゴミは分別を担当二人が仕分けしたので手間がかかったがきれいにまとまった（個人に任せると間違える方がいるとのこと）

【簡単レシピ】

- ① 良かった点 : 同一料理で他の食材を使った場合の展開方法。
調理法の説明が分かりやすい。
 - ② 課題 : 備蓄食品の展示方法
 - ③ 問題点 : ①講師との摺合せが十分ではなかった。
例) 必要機材・当方のサポートの要望を聞く。
②午後の参加者が少なかった。参加者を募る方法を検討しなければならない。
- ・先生と助手の方が料理の材料を揃えて、手早く料理されたので、スムーズに進行できたが、料理を配る時、さめないように早く渡そうと手渡ししていたところ、「コロナ禍なので参加者がお盆から手で取るように」と注意されたので、すぐに改めることが出来て良かったと思った。
- なお、2回に分けて行われ、前半は6名の参加者でゆったりとした席を確保できたが、後半は32名の参加者が予定されていたため、前の方に詰めすぎ、結果的には15名の参加者であり、ソーシャル・ディスタンスの観点からは問題があったかも知れない。

【講演会、意見交換会】

- ・第2会場（4-5集）を担当したが、回線が中断し、第1会場の音声、画像が視聴できないトラブルが発生した。
- 協議会委員を含めて、午前中は十数名、午後も5-6名が視聴され、午前の部では、第2会場からの質疑応答もされたので コロナの問題が完全に解消されるまでは、オンラインによる第2会場開設の必要性があると思われる。
- 今回、専門業者の支援を入れて、打合せ、リハーサルも実施したがやはり、本番では、予想外の原因によるトラブルが発生した。
- トラブル時の緊急対応や、全般的な良好な運営について 当日の専門業者の支援は、ずいぶん、頼りになったが、ポケットwi-fiについて機器（ハードウェア）の業者の推奨だけではない 検討が必要と考えられるなど 今回の経験を生かして、今後の対応を行う必要があると考える。
- ・特に問題なかった。準備が済めば会場係は4名要らない。
 - ・コロナ対策が充実していた。
（問題点）水災ハザードマップが不足していた。Zoomが中断した

【体育館】

- ・良かった点 : 1) 西荻の女性委員達が会長含めて良く動いてくれたため、シート張り、テント張り、その他気配りで、片付け時も含めてスムーズにいった。
2) 観客数が少なく、時間を持て余し、西荻委員や防災課の人々との情報交換が出来た。(?)
- 課題 : 観客の増加策
- ➡ 地下展示室・体育館へ誘う工夫 → 今回1F階段の手前に震災救援所の大きな提灯を設置。又、エレベーター前に看板を椅子上に配置。 それでも、観客不足。
 - ➡ 区の防災課の展示が魅力無し → やる気の問題か？ もっと関連展示を増やすべき。

2. 開催内容全般についての評価（良かった点、課題、問題点など）

- ・意見交換会で各町会へのアンケートに基づき、参加者のヒントがいただけてよかった
- ・西荻、荻窪トータルでかなりの要員数、関係団体も多くの応援体制でした。
町会、自治会、防災会の責任者中心の70~80名(60~70名?)の参加者ではもったいない感じがしま

した。

- ・全体をじっくり見ていませんが、総じて雰囲気・評価も良かったのではないかと感じています。
- ・講演会、意見交換会とも、内容もよく、参加者からの意見交換も活発に行われたので良かったと思う。

良かった点：1) 準備や運営面は全体的に良いと思う。

課題：1) スタッフが多すぎる感じがした。→ 多分一般人の来場がすくないため、
スタッフが余り気味に見えたか？

2) 一般人の増加策を考えるべきと思う。→ 餌（野菜販売、子供に魅力的な消防車展示＝親が付いてくる）で釣るか？

- ・情報交換会終了後駆け足で一回りしただけで、しっかりしたコメントはできないが 全体に良くオーガナイズされていて良かったように思う。引っ掛け問題的な防災クイズには違和感があった。啓蒙するためのクイズにして欲しい。

- ・情報交換会でウォークラリーが参加者拡大に有効との発言があったが、街の発見が防災訓練に役立つ、参加者拡大に繋がる、との趣旨の発言は十分理解できず

- ・大会の総責任者の染谷氏が的確な全体への目配りと、各所への見回りなどをされ、防災フォーラムは大成功でしたが、各部所で染谷氏に訊かないと分からないことが多々あったようで、染谷氏を探し回ることもあったようです。

来年度はヘッド・クォーターを設置し、緊密な連絡の取れるシステムの構築が課題だと思います。

- ・各部門別の担当方々の丁寧な説明が素晴らしかった

- ・それぞれのお弁当の名前を貼る作業もあり、大変な労力の結集の上に成り立った素晴らしいイベントでした

- ・作業をしていると「甘味」がほしくなる（弁当係の丸山さんが持参してくれたお菓子をご馳走になった）表玄関の看板が1枚だけでは勝手のわからない人にはわかりにくいと思う。「防災フォーラム」と大きな文字で分かりやすく表示してはどうでしょう

「事業ゴミ」の出し方は事前に全員で確認しておいたほうが良いと思う。

- ・防災に関するブースが充実していた

(問題点) 各ブースの終了時間が異なるため、片付けの開始が不統一になった

3. その他

- ・地下でやっていた避難所体験は、段ボールベッドなど、実物があったのだからそれを生かして、説明だけでなく体験型の展示をしてほしかった。ほかのブースは、説明とともにゲーム感覚で分かりやすかっただけに、少しつまらなかった。

- ・1, 2を総合して、防災の基本は自宅避難にならざるを得ないと思いますが、講座内容や、SSV、その他団体の有益な情報が参加者(各会長等)から一般区民へいかに伝わるか・・・今の平均的町会活動ではその伝播力に疑問を感じます。

協議会のやるべき活動範囲を考えるとこれが限界とは思いますが、しつらえの手間とやっている内容からみて、これで満足するのはもったいないので、このフォーラムに毎年各町会から1~2名は一般の方に参加の声掛けをノルマとし、参加してもらい研修いただく仕組みを考えてみる事ができればと感じました。避けて通りたい課題なので難しいとは思いますが、検討する価値はあると思います。

- ・簡単レシピでは助手をどうするか気がかりではあったが、息があった方を同行してくださり、滞りなく講義が進みました。

- ・小学校の近所で小学校の防災担当が言っていたのは、防災の基本は近所での親しさや顔見知りや如何に増やすかが大事で、その増やし方を教えて貰いたい、と。

- ・消防コーナーへの関心、立ち寄りが少なく、出展者の手持ち無沙の様子が気になった。
(通りすがりのその時だけだったかもしれないが。)

提出期限 12月13日 染谷まで返信ください アドレス= ssome@mail.goo.ne.jp

「防災フォーラム2021」委員アンケート（西荻）

1. 担当いただいた部門の評価（良かった点、課題、問題点など）

【前日準備】

- ・ 体育館の養生や設営を担当したが、作業がスムーズに進み予定時間よりかなり作業が完了してよかった

【受付】

- ・ 要員が多く混乱しなかったが、一般の参加者がもっと多かったら混乱があったかもしれない
講演会の申し込みについて登録手違いがあり、何件かクレームがあった
配布プログラムの時間が間違っていた。チェックは複数で行うべき
- ・ 担当者の人数がちょうどよく、作業がやりやすかった

【ロビー展示】

- ・ 来館者が少なく、警察は手持無沙汰のようだった。ビデオコーナーは視聴よりも休憩として使われている印象だった
参加団体（東電・警察・消防団）任せなので手間はかからないが、ルーティンで実施しているようなので、一考する必要があると思う
ビデオには居続ける方がおり、少々緊張したが特に大ごともなく終わった。来場者の扱いは難しいが、危機管理対応も考える必要がある
- ・ 東京ガス、水道局以外はそれぞれの担当者がいて、防災のために必要な事項について丁寧な説明をされている様子がみえた。問題点は展示物が多く、パネルが少し不足だった。事前に話し合いが必要と思う。
- ・ 公衆電話会は伝言ダイヤルのデモ、目標30人を超える人数に対応できた。ただ協議会のスタッフ一人だけで、物資の調達など対応が手間取った
- ・ 展示コーナーへの立ち寄りも少なかった。講演会と情報交換会と忙しいため、いた仕方ない面もあるか
- ・ DVDの内容はとても面白かった。1枚ではなく複数のDVDを回すといいのかなと思う

【クイズ担当】

- ・ 事前に形式を伺えたらよかったと思う。クイズなので答えを詳しく聞かれることが多く、知識が足りずに申し訳なかった。事前勉強をしたいと思った
- ・ パネルを作成して準備万端整えたが、防災に詳しい人が間違えては恥ずかしいとの思いがあるのか、訪れる人がとても少なかった。今後のことを考えると不要かもしれない。
- ・ サクッとクイズをしてもらった感じだった
ポツリポツリと、人の流れがあったが、部屋の雰囲気（重厚感がある会議室）もあってか、入口で「入ってもいいのお？」の声があったり、クイズを間違ったら恥ずかしいなどの声があった
景品があったのは良かったと思う。皆さん喜んでいて
問題レベルが3段階あったのは盛り上がりとしてよかったと思う
勉強になるとの意見もあった
感染対策の面ができていなかった。部屋の入り口に消毒ボトルもなく、回答時に旗を持っていただく予定にも関わらず消毒用ティッシュもなかった

【ペット】

- ・ 避難所でのペットの扱い方がわかってよかった。
相談者の数が多く、来場者が少なかったので人数について考えたほうが良いと思う。来場者も入りやすかったと思う

【弁当担当】

- ・満足できる弁当でおいしかった。好評だった。数も不足せず、後片付けもスムーズだった

【簡単レシピ】

- ・男性の参加者が多く熱心に料理法を聞いていた。全体的に大変良かった

【講演会、意見交換会】

- ・集客は招待方式だったためほぼ満室になったのは良かったが、配布資料の内防災課の部数が30部で3分の1以上の方に配布できなかった。

会場の設営はスムーズにできたが、講演中にZoomなどで一部不具合があった（IT専門スタッフを配置する必要があると思う）

講演が始まった後は、ほとんどのスタッフは暇になったので最低限の人数にして、解放したほうがいいと思う

- ・心配していたZOOMについて、一部音声トラブルが発生したが、まずまずの成果があったと思う。やはり臨場感に欠ける点はやむを得ないか？

情報交換会について～荻窪地区と西荻地区の格差が著しく目立った（発言は荻窪地区のほうが多かった。西荻地区ももっと頑張らないと協働の意味がない）

【体育館】

- ・良かった点：一緒に担当した委員の方々が親切で二日間活動がしやすかった

課題：寒かったこと。地下2階は他の部門と分かれていて、下まであまり降りて来てもらえなかったのも、上の部門をいくつか体育館に持ってきてよかったように思う。広々しすぎて閑散としていた

2. 開催内容全般についての評価（良かった点、課題、問題点など）

- ・良かった点：委員の皆さんの仕事ぶりが早く、テキパキチームワークが良く、早めに準備や片付けが終わったこと

課題：こども達が楽しめるような内容で、子育て世代に来てもらい防災意識を広めたいと思った。私自身がとてもためになったので、小さな子達を抱えた世代の防災意識を高められたらと思う

- ・全体的な雰囲気は大変良かった
- ・積極的に広報しなかったせいか、一般の参加者が少なく、各展示ブースが暇そうにしていた。もったいないなあと思った。各ブースの動画を撮ってPRビデオを作ればいいなと思った
- ・参加される方の意識はどのようなものなのか（積極的か義理か）疑問が感じられた。西荻・荻窪全員参加だが、ダブついた印象あり。午前午後に分けるなど負担軽減を考えてもいいのではないか
- ・自治会・町会関係に直接案内状を出しているため、講演会など収容人数については問題なかったが、一般来場者についてはコロナ下とは言え少なかった。一般の方の招致にひと工夫が必要と思う
- ・防災講座に出席して、はっきり自分にインプットできた。やはり講座に出席するのが一番良いと思った。
- ・来場者が少なかったが、現状ではフォーラムを開催できただけでも大変だったと想像する。アフターコロナではイベントに多くの人が集まるという形態が変化するかも知れない。その際イベントをどのように変化させていくか課題が残されている可能性もある
- ・準備段階で、誰に聞いたらいいのか、その人がどこにいるのかわからないのであたふたした。情報が集まる拠点 or キーパーソンがいるといいと思う
- ・協働事業となっているが、防災ならば地域ごとの開催のほうが良いのではと思う。有事の際は地域センターを利用すると思うし、個々に毎年開催して注意喚起、防災への理解を深めたほうがいいと思う
- ・コロナ下での開催でやむを得ないと思うが、担当者ばかりが目立った
- ・コロナ下での開催のため、招待方式にして入館者を絞ったのは良かったと思う。若年層の集客が少なかったよ

- ・うに感じたので、その層に対して魅力ある内容を企画する必要がある
- ・関係者が多かった。一般参加者が少なかった
- ・招待者、応募での参加人数は事前にわかっていると思うので情報があつたほうが対応する側も準備がしやすい
- ・前日・当日の準備・片付けの人員を分けるなどして、負担が減るとよいのではないか
- ・どこで、何をやっているのか、分かりにくかったと思う
- ・西荻Cについて、マンネリ化しない様、もっと工夫が必要と感じた

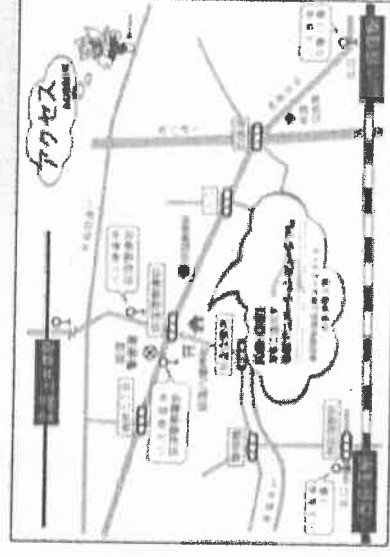
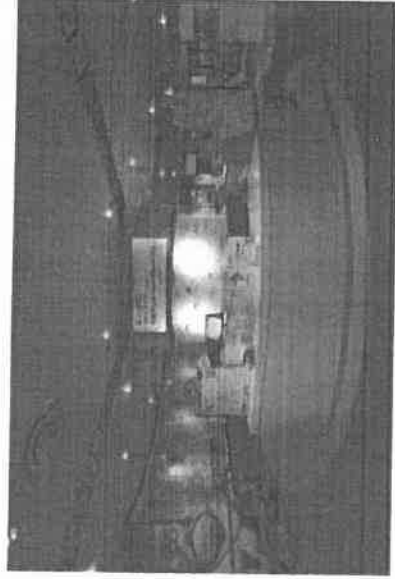
3. その他

- ・終了時間が予定より早かったのか？後片付けを急がされて少し大変だった
- ・荻窪との協働でやることの意味を再考したほうが良いと思う。防災は実際にはとても狭い範囲で実行されるものだと思うので、もっと地域に密着した情報を提供してはどうかと思う
- ・地域（荻窪・西荻）を考慮すると協働事業として難しいと思う
- ・コロナの中で開催でき天候にも恵まれ良かった
- ・来るのに時間がかかった、今後の協働について話し合っしてほしい
- ・資料のミスで担当外の準備をした
- ・コロナ感染対策はある程度できていたので問題はないと思う
- ・今回のフォーラムは、防災関係者中心のイベントのように感じた。今後は地域の一般住民の参加を促すような内容を期待する
- ・前日準備及び当日の担当をその日になって言われるよりは、事前に教えてもらっていたほうが、必要な道具などを用意できたりするのでより効率的に進められたと思う
- ・荻窪消防署の管轄に2つのセンターがあるので、合同で開催していると思うが、それぞれで開催するという手もあると思う
- ・反省点
 - ①ZOOMのオペレーターの方(白Tシャツ)前準備が忙しかったせいか、講師の講演中に居眠りをしていた。観客席から見て、見苦しく見えた
 - ②作業終了について～決められた時刻前に手じまい作業に入り注意を受けた。今後の課題としたい

杉並アニメーションミュージアムとは

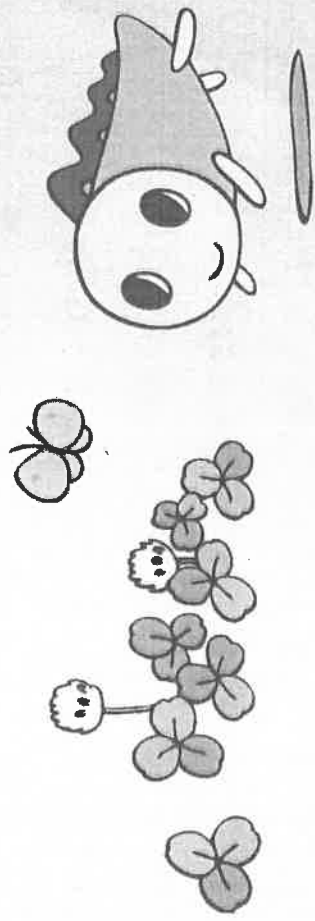
- ▶ 全国で唯一のアニメーションの総合ミュージアム（平成17年開設）
- ▶ アニメアーカイブ施設➡にぎわいの創出を目的とした観光施設。
- 常設展... 「日本のアニメの歴史」や「アニメ制作原理」などを年表や画像、映像を通して紹介
- 企画展... 代表的な作品等に焦点当てた「企画展」を年3回実施
- ▶ 週末や祝日、長期休暇にはアニメ制作体験ワークショップを実施

※平成30年度末には、約7万人を集客



今回のご相談

- 杉並会館の改修工事に伴い、令和4年7～11月に休館となる。
- 休館期間中に、以下の取組を他の区立施設で実施したい。
- 展示
 - 「アニメのまち杉並」 「杉並アニメーションミュージアム」
 - 「区内アニメ制作会社」の紹介展示
- ワークショップ
 - アニメ制作体験ができる「コマドリクエスト」など
- ミュージアムの認知の拡大
- 施設再開後の来館者増



展示規模・イメージ

■ スペース

- ロビー 展示の実施 (180cm×90cm/パネル等10～20枚程度)

※お持ちの展示設備をお借りしたいと思っています。

- 諸室 ワークショップの実施 (30㎡程度～)

※施設の部屋の状況にあわせて調整可能です。

■ 展示等期間

- 展示は設営準備を含め、1か月程度を想定。

- ワークショップは、週1回～3回程度。

※ワークショップ1回あたりは、

40分～1時間程度。

全体で半日程度を想定。



アニメ・マンガフェスで実施



西荻区民センターで実施



荻窪区民センターで実施

令和3年12月6日
産業振興センター観光係

【参考】出張ワークショップ

◆西荻地域区民センター

令和3年6月27日（日）

内容：紙アクアリウムワークショップ

専用の用紙に好きな海の生き物を描いて、その絵をスキャンすると描いた絵が画面上を泳ぎ出す

参加人数：68名

◆荻窪地域区民センター

令和2年11月15日（日）【おぎくぼセンター祭と同時開催】

内容：紙アクアリウムワークショップ

参加人数：264名

◆現況写真

西荻地域区民センター



荻窪地域区民センター



HOME > 講座・講演・イベント > イベント > 1月29日(土)・30日(日) 開催 第43回アート展

1月29日(土)・30日(日) 開催 第43回アート展

直接会場へ



第43回

アート展

アートを楽しみ、心も暖かく!

令和4年1月29日(土)・30日(日)

29日(土) : 午前10時~午後4時

30日(日) : 午前10時~午後3時30分

会場 : 荻窪地域区民センター

☆杉並区民・グループの作品

☆小・中学校の
児童・生徒の作品



お願い
・検温・マスクの着用
・手指の消毒・3密回避

特別展 石山太柏

~荻窪ゆかりの日本画家~

石山太柏は天沼に住み、武蔵野の風景を精力的に描いた日本画家

また茶道にも造詣を深め、日本茶道院を創設した

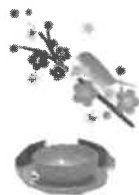


石山太柏
写真提供 石山健晴

主催：荻窪地域区民センター協議会 TEL03-3398-9127

*記載内容は変更する場合があります

ホームページ：<https://ogikubokyougikai.sakura.ne.jp>



開催日 1月29日(土)・30日(日)

時間 29日(土)午前10時~午後4時、30日(日)午前10時~午後3時30分

場所 荻窪地域区民センター (全館使用)

HOME > お知らせの履歴 > お知らせ > 1月22日(土)開催 新春講演「天才・手塚治虫との対話から」

1月22日(土)開催 新春講演「天才・手塚治虫との対話から」

募集中!

講座紹介

新春講演

「天才・手塚治虫との対話から」

「少年倶楽部」の黄金期を築き、戦後には伝説の雑誌「漫画少年」を発刊した名編集者・加藤謙一を父に持つ講師が少年時代に直に接した天才・手塚治虫をはじめとするトキワ荘を巡る若き漫画家達との交流を語り、その時代の意義を論じます。

- ★日 時:令和4年1月22日(土)午後1時30分～3時
- ★講 師:加藤丈夫(国立公文書館前館長)
- ★場 所:荻窪地域区民センター第1・2集会室
- ★定 員:30名



- 講師 加藤丈夫(国立公文書館前館長)
- 開催日 1月22日(土)
- 時間 午後1時30分～3時
- 場所 荻窪地域区民センター第1・2集会室
- 定員 30名
- 参加費 200円
- 申込方法
 - ・往復はがきでのお申し込み:(原則、3回とも参加できる方が対象です)
 - 往復はがきに(一人一枚)①希望講座名②住所③氏名(フリガナ)④年齢⑤電話番号を明記のうえ
 - 〒167-0051 杉並区荻窪2-34-20 荻窪地域区民センター協議会宛
 - にお送りください。



HOME > お知らせの履歴 > お知らせ > 協議会委員を追加募集します

協議会委員を追加募集します

協議会委員を追加募集します!

荻窪地域区民センター協議会では、ボランティアで活動していただける委員を追加募集します。協議会委員は、地域に役立ちたいとの思いがあれば、経験経歴は不問です、奮ってご応募ください。

活動内容は各種イベントの開催(地域交流部)、講座・講演会の企画運営(事業企画部)、広報紙の編集発行・ホームページの制作運営(広報部)、総務・経理業務担当(総務部)などです。

募集要領

- 募集対象:荻窪地域区民センターのエリア(右図参照)に在住・在勤の方
- 募集人員:若干名
- 活動期間:令和7年3月まで
- 報酬:交通費程度
- 申込書類:申込書(荻窪地域区民センター・本天沼区民集会所で配布、または協議会HPからダウンロード)に必要事項を記入し、協議会事務局へ提出してください。
- 問い合わせ先:荻窪地域区民センター協議会事務局 ☎3398-9127
- 面接:日程を調整させていただきます。



詳細は下記、「協議会委員募集」をクリックし、ご覧ください

協議会委員募集

一仲間づくりや地域づくりに参加しませんかー 荻窪地域区民センター協議会では、ボランティアで活動していただける協議会委員を募集しています。●荻窪地域区民センター協議会の主な活動 地域交流部:「おぎくぼセンター祭」「アート... 読みを読む」

 荻窪地域区民センター協議会



- [トップページ](#) ■ [講座・講演・イベント等](#) ■ [広報紙『わたしのおぎくぼ』](#) ■ [協議会について](#) ■ [施設案内\(アクセス・地図\)](#)
- [お知らせの履歴](#) ■ [サイトマップ](#) ■ [関連施設・団体等リンク](#) ■ [サイトポリシー](#) ■ [プライバシーポリシー](#)
- [情報セキュリティポリシー](#) ■ [協議会専用サイト](#)

荻窪地域区民センター協議会

〒167-0051 東京都杉並区荻窪2-34-20 TEL: 03-3398-9127 FAX: 03-3398-9128

COPYRIGHT © 2013 荻窪地域区民センター協議会 ALL RIGHTS RESERVED



荻窪の記憶Ⅳ 清水・桃井・今川の歴史 郷土博物館分館展示状況

●チラシ (表)・兼ポスター

区民参加型展示 実行団体 荻窪地域区民センター協議会



荻窪の記憶Ⅳ 清水・桃井・今川の歴史



武蔵野の面影を色濃く残す清水
かつて荻窪の中心だった八丁(桃井)
名刹が京都や鎌倉を思わせる今川
多様な荻窪とその歴史を再発見します。

令和3年12月11日(土)~令和4年1月30日(日)

杉並区立郷土博物館 分館
Shinjyōnami Historical Museum

杉並区天沼 3-22-1 (天沼弁天池公園内) 休：東京メトロ丸ノ内線「荻窪駅」北口から徒歩10分
問合せ Tel:03-5347-9801

●チラシ (裏)

荻窪の記憶Ⅳ 清水・桃井・今川の歴史



「荻窪の記憶」は、荻窪地域区民センター協議会が、地元の方々の協力を得て、地域の歴史を振り返り、後世に伝えるプロジェクトです。パネル展示「荻窪の記憶」は、その成果の一部をご紹介します。展示図の本巻では、清水、桃井、今川の歴史を取り上げます。

展示内容
第一巻 井原氏の400年
幕分け 今川氏の家臣と井原氏 豊後と筑後 中興旅行の記録 地元の結びあいで、清水・桃井・今川は、井原の一部でした。
第二巻 清水・桃井・今川
有名な由業と土地に築かれた大小の砦跡
第三巻 ゆかりの人々
井原次郎 犬山康勝 吉田重隆 小宮重隆 など



杉並区北口橋本橋の成徳門(清水2丁目) 毎の歴史を伝える井口山姥新説文書 清水の風景(昭和10年頃) 荻窪徳天満宮
大宮千石(昭和10年頃) 荻窪徳天満宮 徳島の桃井と丁目にあった井原守屋跡 徳島の桃井3丁目にある徳島跡

【ご来館される方へのご案内】
◆お酒や喫煙など風俗の規制がある方、体調がすぐれない方はご来館をお控えください。
◆来館時はマスクの着用をお願いいたします。◆入館時に手洗いや手指消毒をお願いします。◆館内では2メートル程度、人と人の距離をみてください。◆入館の制限を行う場合がありますので、ご協力ください。

場 所 杉並区立郷土博物館分館 西棟1階展示室
杉並区天沼 3-22-1 (天沼弁天池公園内)
近：東京メトロ丸ノ内線「荻窪駅」北口から徒歩10分
電車でのご来館はご遠慮ください

展示時間 午前9時~午後5時
休 日 休館
休 館 日 毎週月曜日・毎月第3水曜日(祝日の場合は運営が休館)
観 覧 料 無料
TEL 03-5347-9801
E-MAIL www.city.suginami.tokyo.jp/histomuse/



杉並区立郷土博物館 分館
Shinjyōnami Historical Museum

●展示状況(12月10日撮影)



わたしの おぎくぼ

発行：荻窪地域区民センター協議会 〒167-0051 杉並区荻窪2-34-20 ☎3398-9127 FAX 3398-9128
ホームページ <https://ogikubokyougikai.sakura.ne.jp/>
荻窪地域区民センター 杉並区荻窪2-34-20 ☎3398-9125 【休館日】第2・4月曜日と20日・12/28～1/4
本天沼区民集会所 杉並区本天沼2-12-10 ☎5310-4633 【休館日】第1・3月曜日・12/28～1/4

第28回



アットホームな「おまつり」を楽しもう! 本天沼集会所まつり



杉並産野菜・花・苗
綿あめ・ポップコーン
ソフトドリンク



★開催日：令和4年2月27日(日)
★時間：午前10時～午後3時
★会場：本天沼区民集会所

エネルギーを知ろう
発電体験コーナー

苗木で募金

ひな壇飾り
撮影コーナー

催し物

- 天沼小学校吹奏楽 ●ヒップホップダンス
- 大人の音楽クラブ ●こどもバイオリン



主催：荻窪地域区民センター協議会

これからのスケジュール

●1月29日・30日「アート展」

2月

●2日・3日・21日「パネル展示」

「荻窪の記憶④ 清水・桃井・今川の歴史」

会場：当センター1階ロビー

●4日・11日「正しく笑ぼう！ラジオ体操」

講師：陣立和子全日本ラジオ体操連盟公認指導士

●5日「地域交流会」

講師：梅山朋子すぎなみ栄会と食の会会員

●19日(日)「荻窪にあるネパール人学校(EIS)を知ろう」

講師：バット・ヒスヌ・パラサド校長

●27日「本天沼集会所まつり」

会場：本天沼区民集会所

3月

●5日「地域交流会」おみゆに亭カフェ

●15日「広報紙」わたしのおぎくぼ」

●3月31日 4月5日号発行

令和4年度4月以降

●4月〇日(日)「清水・桃井・今川の歴史散歩」
講師：松井和男(荻窪の記憶プロジェクト)

●4月26日(日)「令和4年度定期総会」

●5月〇日(日)「こいえんす縁日」

●5月31日(日)「広報紙」わたしのおぎくぼ」

●6月1日(月)「6月7月号」発行

●6月12日(日)「おぎくぼ」センター祭」

※イベント・講座等は変更になることがあります。
※会場が変更されているものは全て、会場は
荻窪地域区民センターです。
※問い合わせ先：●事業企画課 ●地域交流課

●広報紙 ●総務課



高等学校訪問
第2回



校訓は「信頼敬愛・自主協同・熱誠努力」

日本大学第二高等学校



高校紹介の第2回は、日大二高の新野好通（しんの・よしみち）校長先生からお話を伺いました。

★概要

四面道と中杉通りを結ぶ「日大二高通り」沿いにある日本大学第二高等学校は、昭和2年に日本大学第二中学校として開校しました。戦後、日本大学の経営から独立し、学校法人日本第二学園を設立。昭和22年に新制日本大学第二中学校、その翌年に日本大学第二高等学校が誕生しました。生徒は、付属中の進学者240人に高校からの入学者210人を加え、一学年約450人です。校訓は「信頼敬愛・自主協同・熱誠努力」で、自分の在り方を積極的に受け止め、自己吟味しつつ前向きに生きる力「自己肯定力」の育成を重視しています。

★日大二高の特色

他国の青少年に比べて日本の若者達は自己肯定力が低い傾向という、ある調査機関の分析があります。自己肯定力の育成は、急激に進むグローバルかつ予測不可能な現代社会を力強く生き抜いていくために必要不可欠だと学内で共有しています。

自己肯定力を育むには、どんな生徒にも居場所がある環境づくりが大切です。同質の環境を整え、「競い合い」からスタートするのではなく、多様性を尊重し「認め合い」から仲間と接することに重きを置いています。



教師による丁寧な進路指導

このため日大二高では、特進クラスやスポーツクラスといった何かに特化したクラス編成はしていません。付属中進学者も高校から加わる生徒も、同じクラスで学園生活をスタートします。そこには

多様な価値観や学力個性を持つ仲間が集まっており、さまざまな場面を通じて、教え合い・学び合うことで、自己肯定力を含めた15の資質・能力が伸長できるような環境づくりに注力しています。

日大二高は、一、三高と同じく日本大学直属の付属高ではなく、独立した学校法人が運営する「特別付属高」です。大学進学実績も個性豊か。付属校でありながら、日大への推薦進学は3分の1程度で、国公立大や他の難関私立大への進学者が多い半附属校的進学校であることが大きな

特色の一つです。理系大学への進学者も毎年40%程度を数え、文理バランスの良い学校でもあります。

★コロナ禍でのクラブ活動

目的も目標も多様な38のクラブを設置しています。これも、どんな生徒にも居場所がある環境づくりの一つです。運動部は、春夏合わせて甲子園に6回出場の硬式野球部や、今年も全国大会に出場しているチアダンス部、水泳部、スキー部が活発。文化部は、演劇部、書道部、華道部、吹奏楽部、フォークソング部が上位入賞を果たしています。釣り部という珍しい部活もあり、人気があります。コロナ禍では、感染症対策を講じ「短時間集中型」で活動、合宿は控えています。



全国大会出場のチアダンス部



校内の銀杏並木

★新野校長の思い

新野校長は、日大理工学部の大学院時代に日大二高の講師を務め、卒業後に正式な教員となり、以後40年近く進路指導を中心に携わってこられました。校長に就任されたのは2年前の2019年4月です。OB・OGのご子息の入学希望が多いのですが、「まずは、お子さんを連れてきて、在校生と話をさせてやって下さい」と親の思いばかりが先行しないよう、くぎを刺しているそうです。

■日本大学第二高等学校

住所：167-0032 東京都杉並区天沼1-45-33

電話：03-3391-0223

ホームページ：<https://www.nichidai2.ac.jp/>

講座案内

荻窪にあるネパール人学校(EISJ)を知ろう

荻窪にあるエベレスト・インターナショナル・スクールジャパン(EISJ)のビスヌ校長による講演と、同校の生徒によるスピーチを聴き、質疑応答・懇談・交流を通じて荻窪のネパール人学校はどんな学校なのか、知ることができましょう。

異文化に興味がある中・高生の参加を歓迎します。

日時：2月19日(土)午後1時30分～3時15分

場所：荻窪地域区民センター第1・2集会室

講師：バット ビスヌ パラサド EISJ 校長

※受講希望の方はP4の講座などのご案内を読んでお申し込みください。



「荻窪の記憶」

こぼればなし

都心から一番近い武蔵野

新宿から中央線の快速で8分、荻窪で降りて徒歩13分。そんなところに、武蔵野がまだ残っていたとは！清水二丁目の松原さんの農園をはじめ訪ねたときの驚きは忘れられません。母屋こそ建て替えられているものの、樹齢推定300年を超える榎を中心とする屋敷林、畑、梅林、竹林、薪小屋、朱い鳥居のあるお稲荷さん。昔の武蔵野が、突然フルカラーで蘇ったようでした。

開催中の「荻窪の記憶Ⅳ」展で、清水を取り上げたのも、そのときの印象があったからで、この一年、その四季をカメラにおさめようと、頻繁に通いました。その写真の一部を、誌面を借りて、ご紹介します。

「荻窪の記憶」プロジェクト
松井和男



開催報告

防災フォーラム2021「知ろう！高めよう！まちの防災力・わたしの防災力」

第13回防災フォーラム2021が12月5日(日)に「知ろう！高めよう！まちの防災力・わたしの防災力」をテーマに荻窪&西荻地域区民センター協議会共催にて荻窪地域区民センターで開催されました。プログラムは講演と教室、情報交換会と各種展示で構成。

- 講演は「災害ボランティアセンター立ち上げの意味と地域との連携」(杉並ボランティアセンター・坂西千笑講師)と「災害時、荻窪地域区民センター3つの役割」(杉並区防災課・及川美咲講師)。
- 教室は「災害時の簡単レシピ」(青山貴洋講師)。
- 情報交換会は「各地域の防災会・震災救援所の取り組みについて」。約40の町会・自治会・地域支援団体や一般参加者も含め、活発な討議や情報交換を展開。
- 展示は「震災救援所に見立てた避難体験」や防災倉庫見学、「自宅避難を考えよう」(杉並災害ボランティアの会)、荻窪警察署、荻窪消防署等、多くの方に協力いただきました。



災害時荻窪地域区民センターの3つの役割



災害時の簡単レシピ



自宅避難を考えよう



警察・消防の展示

【開催報告】秋を楽しむ木の实工作教室 (11月28日(日)実施 講師：山室京子)

秋の木の葉・木の実・蔓(つる)等を使って、工夫してクリスマス、お正月等に向けリース・ブローチ・ドア飾りなどを作る講座。親子参加されている受講生さんは、お子さんより保護者の方が熱心になる場面も。質問に講師やご協力ボランティアの方々が親切・丁寧指導。ちょっとしたアドバイスで作品が見違えるように変貌しました。あっという間に時間が過ぎて素敵な作品が完成して皆様笑顔でお帰りになりました。



講師とボランティアの紹介



素敵な作品が完成

講座などのご案内

※スケジュールが変更になった場合はホームページ

No.355P4 レイアウト 1220

講座名	内容・講師	開催日・時間	定員	参加費	申込締切
荻窪にあるネパール人学校 (EISJ)を知ろう	荻窪にあるエベレスト・インターナショナル・スクールジャパン(EISJ)のビスヌ校長による講演と同校生徒数名によるスピーチを聴き、質疑応答・懇談・交流を通じて荻窪ネパール人学校を知る。異文化(外国)に興味のある中・高生の参加歓迎。 講師:パトビスヌパラザド(EISJ)校長	2月19日(土) 午後1時30分～3時 15分	30名	200円	2月6日(日)

【講座の申込方法】 ◆往復はがきに(一人一枚) ①希望講座名 ②住所 ③氏名(フリガナ) ④年齢 ⑤電話番号を明記のうえ 〒167-0051 荻窪2-34-20 荻窪地域区民センター協議会宛 (申し込み多数の場合は抽選です。)

開催案内 「こみゆに亭カフェ」～地域住民同士の楽しい交流づくり

毎回つながるきっかけづくりを目的として
さまざまな講話やワークショップをおこなう
(第3弾)。

ゲスト:和泉紀夏(ひな) 女優・演劇セラピスト
Toshi小島 オーガニックサウンドセラピスト
日時:3月5日(土)午後1時～3時
場所:荻窪地域区民センター第1・2集会所
定員:40名 参加費:200円 締切:2月23日(水)
応募:往復ハガキ(氏名・住所・年齢・電話番号)



協議会委員を追加募集します

荻窪地域区民センター協議会では、ボランティアで活動していただける委員を追加募集します。地域に役立ちたいとの思いがあれば、経験経歴は不問です。奮ってご応募ください。

- 募集対象:荻窪地域区民センターのエリアに在住・在勤・在学の方
- 活動期間:令和7年3月まで
- 問合せ先:荻窪地域区民センター協議会事務局
住所:杉並区荻窪 2-34-20 ☎3398-9127
- 申込書類:用紙は荻窪地域区民センター、本天沼区民集会所にあります。HP からダウンロードも出来ます。
※募集要領の詳細は当協議会 HP に掲載しています
<https://ogikubokyougikai.sakura.ne.jp/>

郷土博物館分館 区民参加型展示

問い合わせ:☎5347-9801

西棟1階展示室

杉並における住宅開発 ～同潤会・公団住宅から民間開発～

杉並区が良好な住宅地になっていった原点の一つと考える同潤会から日本住宅公団、民間の住宅開発まで、すぎなみの住宅地の発展に関する歴史を紹介する。

【展示期間】令和4年3月5日(土)～5月8日(日)

- 場 所:杉並区立郷土博物館分館(杉並区天沼3-23-1天沼井天池公園内)
- 開催時間:午前9時～午後5時
- 休 館 日:毎週月曜日と第3木曜日(祝日の場合は閉館し翌日休館)
- 観 覧 料:無料

開催案内

「荻窪の記憶」プロジェクト

パネル展「荻窪の記憶Ⅳ ～清水・桃井・今川の歴史」 (郷土博物館分館での展示に続き開催)



清水の農家



八丁の看板建築(桃井)



観泉寺(今川)

武蔵野の面影を色濃く残す清水
かつて荻窪の中心だった八丁(桃井)
名刹が京都や鎌倉を思わせる今川
多様な荻窪とその歴史を再発見します

開催期間:令和4年2月2日(水)
～3月21日(月)
展示場所:荻窪地域区民センター1階ロビー

*【地域からのお知らせ】のコーナーに掲載したい地域情報がありましたら、センター協議会へFAXでご連絡ください。 FAX番号:3398-9128

2月22日(火) 3月22日(火) 日 郷土博物館分館からのお知らせ

2月22日(火) 午後1時～ 会場:第1・2集会所
3月22日(火) 9月28日(日) 午後1時～ 会場:第1・2集会所
※委員会は一般公開です。傍聴を希望される方は事務局までお申し込みください。

[トップページ](#)[講座・講演・イベント等](#)[広報紙
「わたしのおぎくぼ」等](#)[協議会について](#)

狹窪地域区民センター協議会



お知らせ

[サイトマップ](#)

- 2021.12.14 [1月29日\(土\)・30日\(日\) 開催 第43回アート展](#)
- 2021.12.13 [1月22日\(土\)開催 新春講演「天才・手塚治虫との対話から」](#)
- 2021.11.30 [協議会委員を追加募集します](#)
- 2021.11.30 [広報紙「わたしのおぎくぼ」№354 2021年度12月・1月号 \(11月30日発行\)](#)
- 2021.11.25 [当協議会ホームページをSSL化 \(https化\) しました](#)
- 2021.11.14 [12月12日 \(日\) 開催「狹窪寄席」](#)
- 2021.11.13 [12月11日\(土\)～1月30日\(日\)郷土博物館分館にてパネル展「狹窪の記憶Ⅳ 清水・桃井・今川の歴史」](#)
- 2021.11.12 [12月3日・10日・17日各金曜日\(3回\)開催「背骨を整えよう！腰痛スツキリ体操」](#)
- 2021.11.11 [12月5日 \(日\) 防災フォーラム2021 \(終了しました\)](#)

[「お知らせの履歴」を見る](#)

トップページ

講座・講演・イベント等

広報紙
『わたしのおぎくぼ』等

協議会について

HOME > 講座・講演・イベント > イベント > 12月5日(日)防災フォーラム2021(終了しました)

12月5日(日)防災フォーラム2021(終了しました)

終了しました

【開催報告】

第13回防災フォーラム2021が12月5日(日)に「知ろう!高めよう!まちの防災力・わたしの防災力」をテーマに荻窪&西荻地域区民センター協議会共催にて荻窪地域区民センターで開催されました。

プログラムは講演と教室、情報交換会と各種展示で構成。

講演は「災害ボランティアセンター立ち上げの意味と地域との連携」(杉並ボランティアセンター・坂西千笑講師)と「災害時、荻窪地域区民センター3つの役割」(杉並区防災課・及川美咲講師)。

教室は「災害時の簡単レシピ」(青山貴洋講師)。情報交換会は「各地域の防災会・震災救援所の取り組みについて」。約40の町会・自治会・地域支援団体や一般参加者も含め活発な討議や情報交換を展開。

展示は「震災救援所に見立てた避難体験」や防災倉庫見学、「自宅避難を考えよう」(杉並災害ボランティアの会)、荻窪警察署、荻窪消防署等、多くの方に協力いただきました。



災害時荻窪地域区民センターの3つの役割



災害時の簡単レシピ



警察・消防の展示



自宅避難を考えよう



震災救援所に見立てた避難体験

.....